

都立世田谷総合高校 令和3年度 年間授業計画

教科・科目(単位数)	書道 I
対象年次	1年次
使用教科書	『書道 I』(教育出版)
使用副教材	なし
科目担当	

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数	
1 学期	4 月	●書の用具・用材 ●オリエンテーション	・書の用具・用材について理解させる。 ・1年間の学習の流れと持ち物等について理解させる。	【観点】 関心・意欲・態度 表現の工夫 知識・理解 【方法】 授業における取 組みや欠席状況お よび提出された作 品・プリントによ り総合的に判断す る	6	
		《漢字仮名交じりの書①》 ●イメージに合わせて書く	・いろいろな線を書くことができるようにする。 (速さ・太さ・始筆の筆使いを変えて書かせる)			
			・紙面構成を工夫して好きな言葉を書くことができるようにする。 (線質・字形・墨色・配列配置を工夫して書かせる)			
1 学期	5 月	《漢字の書の学習》 ●書写の復習 ●楷書の古典	・書体の変遷と楷書の成立について理解させる。 ・書写の楷書の基本点画の書き方を復習し、次週からの古典の学習に備えさせる。			8
			・「九成宮醜泉銘」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。			
			・「孔子廟堂碑」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。			
			・「雁塔聖教序」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。			
1 学期	6 月		・「顔氏家廟碑」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。			8
			・「牛橛造像記」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。			
1 学期	7 月	●文化祭作品制作	・文化祭で展示する作品について考えさせる。 ・各自が決めた課題を練習させる。		4	
2 学期	9 月	●書写の復習	・文化祭で展示する作品を練習させる。 ・書いた文字を見直しをさせ、次回の課題を設定させる。		6	
			・文化祭で展示する作品を、完成させることができるようにする。 ・作品を、教室内に展示させる。			
			・行書の特徴について確認する。 ・書写の行書の基本点画の書き方を復習し、次週からの古典の学習に備えさせる。			

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 学 期	1 0 月	●行書の古典	・「蘭亭序」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。	【観点】 関心・意欲・態度 表現の工夫 知識・理解 【方法】 授業における取り 組みや欠席状況お よび提出された作 品・プリントによ り総合的に判断す る	8
			・前回の学習を生かし、臨書を通してその特徴をより理解・表現することができるようにする。		
			・「争坐位文稿」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。		
			・「風信帖」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。		
2 学 期	1 1 月	●隷書	・隷書の特徴について理解させる。 ・「曹全碑」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。		8
			・「乙瑛碑」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。		
2 学 期	1 2 月	《仮名の書》 ●仮名の成立と仮名の種類 ●仮名の基本的な線	・「木簡隷」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。		4
			・仮名の成立・仮名の種類についての知識を習得させる。 ・仮名の書の筆使いの特徴を知ることができるようにする。 ・墨のすり方を覚えられるようにする。		
3 学 期	1 月	●仮名の古典	・平安時代の平仮名の字形・筆使いの特徴を理解し、表現することができるようにする。		4
			・「蓬萊切」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。 ・仮名の料紙についての知識を習得させる。 ・これまでの学習を生かして、料紙に「蓬萊切」を臨書することができるようにする。		
3 学 期	2 月		・「高野切第三種」についての知識を習得させるとともに、鑑賞・臨書を通してその特徴を理解・表現することができるようにする。 ・これまでの学習を生かして、料紙に「高野切第三種」を臨書することができるようにする。	【観点】 関心・意欲・態度 表現の工夫 知識・理解 【方法】 授業における取り 組みや欠席状況お よび提出された作 品・プリントによ り総合的に判断す る	6
3 学 期	3 月	《漢字仮名交じりの書②》 ●古典の学習を生かして書く	・古典を生かした漢字仮名交じりの書の作品制作ができるようにする。		8
計					70